

平成 2 3 年度事務事業評価調書

平成 2 3 年度作成

平成 2 2 年度 実施事業	<b>事務事業名</b> 児童・生徒文化振興助成金
-------------------	---------------------------

区分	番号	名 称
章	5	豊かな個性と人間性を育むまち
節	3	市民の個性ある文化活動と文化を育む
施策	1	市民の文化・芸術活動の育成・支援
小分類	2	文化活動を担う人づくり
主要な施策	1	文化活動との出会いの場づくり
事務事業番号	001	事務事業コード 53121001 事業開始年度 平成 7 年度 事業終了年度 平成 - 年度

会計種別	一般会計	予算書上の事務事業名	児童・生徒文化振興助成金
------	------	------------	--------------

部 名	教育部	グループ名	社会教育 G
-----	-----	-------	--------

統合前または名称変更前の事業名	
-----------------	--

事務事業の目的と成果

目的	(事務事業の実施目的を具体的に記載してください) 児童・生徒の文化活動で全国及び北海道大会に出場するものに対し、その経費の一部を助成し、保護者の経費負担の軽減と児童・生徒の文化の向上を図る。
手段 (事業の内容・活動)	(目的を達成するためにどのような手法で行うのか、事業の概要を具体的に記載してください) 児童、生徒が全国及び北海道大会に参加する場合、その経費の一部を助成する。 (1) 助成の範囲・・・大会開催要項等に定める登録範囲以内の出場者 (2) 助成金額・・・全国大会：団体出場 対象経費の 1 / 5、個人出場 対象経費の 1 / 4 ：パック旅行等の個人内訳が積算できない場合は 団体出場 総額×助成金対象者 / 大会参加者 × 1 / 5 個人出場 総額×助成金対象者 / 大会参加者 × 1 / 4 全道大会：1人 3,000円
成果	(事務事業の実施成果を具体的に記載してください) 全国及び北海道大会に出場するものに対し、その経費の一部を助成することによって、大きな大会への出場も可能となり、平成 2 2 年度中にも全道で優勝などの成績をおさめる生徒もいるなど、児童・生徒の文化の向上に寄与している。
根拠法令等	(事業を実施する際、根拠となる法令・条例・規則・要綱等の名称をすべて記載してください) 登別市児童、生徒文化振興助成金交付要綱

指標の推移

区 分		単位	区分	22年度 実績	23年度 目標	24年度 目標	25年度 目標	26年度 目標
成果 指標	全国及び北海道大会への参加者数 (年度ベース)	人	目標値	100	100	100	100	100
			実績値	27				
			目標値					
			実績値					

## 事業費の推移

区 分		単位	22年度 決算	23年度 当初予算	24年度 見込	25年度 見込	26年度 見込	24～26 年度
事業の 財源内訳	国庫支出金 名称	千円						0
	道支出金 名称	千円						0
	地方債 名称	千円						0
	その他 名称	千円						0
	一般財源 名称	千円	352	500	500	500	500	1,500
合 計			352	500	500	500	500	1,500
(参考) 上記事業を実施する上で 必要となる人件費		職 員	千円	531	545			
		嘱 託 員	千円	0	0			
		臨時職員	千円	0	0			
		合 計		531	545			

## 担当グループによる事務事業評価の内容

1. 事務事業の妥当性について			
今後も市が事業主体として実施していくことは妥当ですか？	→	妥当である 妥当ではない	→ 妥当である理由、妥当ではない理由は何ですか？ 市の文化力の向上のためにも出場者の負担を軽減するため、助成は必要と考えられる。
2. 事務事業の成果について			
成果はあがっていますか？	→	成果があがっている どちらかといえばあがっている 成果があがらない	→ 成果があがっている理由、あがらない理由は何ですか？ 児童・生徒が全国・全道大会に出場することで質の高い文化活動を学び、市の文化振興に大きく寄与する。
3. 事務事業の成果向上について			
成果を向上させることはできますか？	→	大きく向上させることができる 少し向上させることができる 向上させることはできない	→ どのようにして向上させますか？ 向上させることができない理由は何ですか？ 児童・生徒が、全国・全道大会に出場することで文化活動に対する意欲の向上が図られ、更なる目標に取り組むことができる。
4. 事務事業の経済性・効率性について			
成果を落とさずにコスト（予算や人工、所要時間）を削減することはできますか？	→	削減できる 削減できない	→ どのような方法でコストを削減しますか？ 削減できない理由は何ですか？ 文化の振興や保護者の経費負担を目的としていることから、削減は難しい。

## 担当グループによる評価

<b>維持</b>	左記の評価を選択した具体的な理由（根拠）	学校における文化活動の取組みは活発化しており、全国・全道大会に出場する学校が増加している、学校では旅費の予算の確保に苦慮しており、補助金はこれらの大会に出場する旅費等を助成するものであり、学校での文化活動を支援するために必要である。
-----------	----------------------	--

## 総合的な評価（当該事務事業の方向性）

<b>維持</b>	備考
-----------	----

### 評価の種類

- 拡大（事務事業の規模や経費を拡大し、これまで以上に強力に推進する事務事業）
- 維持（現状の対象や目指す姿、手段などに変更が無く、今後も実施する事務事業）
- 改善（現状の手段や経費などを見直し、成果指標の向上等を行う必要がある事務事業）
- 休止（暫定的に休止する事務事業）
- 終了（当初から決められていた事業期間が終了または成果品等が完成し、目的を果たした事務事業）
- 廃止（当該事務事業の予定を変更し、廃止する事務事業）